

いつもの授業にこんな工夫を！(活用編)

○実践の方針とねらい

コンピュータの活用は、きばらず自然体で行いたいと日ごろから考えています。そこで3年生のカリキュラムに織りこみ、簡単で小さな実践を積み上げるといった形で進めてきました。

実践に当たっては、子ども達の発想を生かすこと、子ども達のやりたいを実現することに配りよしながら取り組んできました。

今回の活動を通して、「子ども達が情報機器についての技術を獲得し、その技術を生かしてまとめたり表現したりすること」、「自分の思いを伝えるためにより適切な方法を考えたり工夫して表現したりできること」をめざしました。

○実践にあたって

3年生までほとんどコンピュータ操作の経験がない子が半数以上いるクラスなので、活動を進めるにあたっては、楽しいコンピュータ活用の実現をめざしました。具体的には次の3つの点を意識して進めました。

- ・自分でできる (体験・経験を増やす)
- ・いつでもできる (日常化をはかる)
- ・安心してできる (しっかりサポートする)

○実践

【導入期】

- ・ポスターづくり(特別活動)・・・デジタルカメラの操作
コンピュータの起動・終了、印刷
ファイルの呼び出し・記録
- ・招待状づくり (国語)・・・お絵かきソフトの利用
- ・本の帯づくり (国語)・・・お絵かきソフトの利用

※この活動を通してコンピュータ利用への抵抗感はほとんどなくなりました。それ以上に、もっとやりたいという声が多くあがりました。

活動にあたっては、コンピュータだけで表現するのではなく、自分の手で書いたり絵を入れたりすることで、他の方法のよさにも気づき、効果的な表現を考える子も現れました。

【活用期】

□ 紹介しよう私の町(社会)・・・デジタルカメラの活用

1. 自分の調べたいことを決める。(グループ作り)
2. どのように調べるかをグループで相談し決める。
 - ・デジタルカメラ準備
 - ・手帳づくり
 - ・役割分担
 - ・あいさつの仕方の確認
3. 調べに行く。
4. 調べたことを新聞にまとめる。
5. 新聞づくりに生かす(写真館)
6. 新聞に書いた内容を他のグループに紹介する。

※ 子ども達はデジタルカメラの準備を自分たちで行い、町探検に出かけていきました。中にはバッテリーの充電を確認しないまま出かけて、ほとんど写真がとれず、自分たちの手で絵をかいていたグループもありました。また言葉だけよりもわかりやすいと感じ、デジタルカメラを持っていけばよかったという声も聞かれました。



□ 学習発表会を成功させよう(総合)・・・文字入力(文字パレットを使って)発表ソフトの利用
インターネットの活用
(レシピ調べ、料理調べ、名所、施設調べ)

1. 発表内容を決める。(分担)
2. 発表準備をする。
・必要な材料集め
・集めたものを加工して使えるようにする
・リハーサル
3. 発表する。
4. 発表をふり返る。

※ 文字入力が確実にできるようになってからインターネットの利用を学習しました。使い方をあっという間に覚え、家に帰ってからもやっていたそうです。今回の発表で使った料理についての資料を家から調べて持ってきた子は、だれよりも先に情報を手に入れ友達をリードしていました。発表を見に来た両親の前でインターネットをあっという間にやって見せ感心させている子もいました。



□ だんぼーの町かどで(図工)・・・Photoshop Elementsによる写真の合成

1. 自分の家をどのようにするか考える。
2. 家を段ボールや空き箱でつくる。
3. 町に住んでいる自分やまわりの動物やものを紙ねん土つくる。
4. 全員の作品を並べ、見合う。



※ 本来なら作品を作って終了するのですが、今回はさらにその町の自分の家を接写して、あらかじめとってあった自分の写真と合成して残そうと考えました。練習で合成を行ったところ、とても興味を持ち、ぜひやりたいと言っていました。操作が多少難しかったにもかかわらず、夢中で取り組んでいました。

まだ、今後こう使いたいという声はあがっていませんが、これからが楽しみです。

○実践を進める中で

子ども達とコンピュータを使った活動を進める中で、「写真を印刷してきてもいいですか。」「コンピュータで調べてきてもいいですか」といった声が増えてきています。休み時間にはいつもコンピュータ室を解放しているので、そこで自分のやりたいことをやっている子もいます。自分のやりたいことをどんどんやる姿が多く見られるようになってきているのです。

一方で失敗したらということに気がして、同じことを何度も質問したり、自分からなかなか操作しなかったりする子もいるので、さらに活動を続けようとも思います。